



## 布水だより

No. 8

令和7年10月6日  
布水中学校  
校長 若狭朋幸

## 令和7年度「前期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」について

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、結果や分析についてのご意見、改善に向けてのご助言を頂戴しました。これらの結果、ご意見・ご助言を令和7年度後期の教育活動の改善と具体的な取組の立案・実行に活かしてまいります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというとあてはまる ③どちらかというとあてはまらない  
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）

各 符 号 … ◎ {各重点の目標} · {学校運営協議会助言等} ☆ {改善策(後期に向けて)}

## (1) 確かな学力の定着

◎学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学びの広がりや深まりを実感し、自己の変容を自覚できる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』(①+②)

R6.12月: 98% R7.7月: 100% A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満

生徒『学校の授業がわかる』(①+②)

R6.12月: 86% R7.7月: 87% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』(①+②) ※「⑤わからない」20%

R6.12月: 58% R7.7月: 58% A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

## [学校運営協議会]

・生徒が「分からぬ」と感じる理由のひとつに、「先生が授業で使う言葉が理解できない」ということがあるのかもしれない。先生にとっては当たり前の表現でも、生徒にとってはつまずきの原因になることがある。授業後に「今日使った言葉で、分かりにくかったところはなかった？」と問いかける場を設けるのも有効だろう。

☆授業が「わかりにくい」と感じている生徒には、自己決定の場を設けたり、個別最適な学び（自分で選んで取り組める活動を取り入れることで、興味や理解に合わせた学びを進めること）を強化したりします。また、協働的な学び（友達と一緒に考えたり話し合ったりする活動）を通して、「わかった！」という実感が得られるよう、教材や授業の工夫を重ねていきます。

## (2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取組の目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『いじめに対する未然防止の指導や事後指導を丁寧に行った』(①+②)

R6.12月: 100% R7.7月: 95% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『学校はいじめを許さず、いじめの解決に向けて対応してくれる』(①+②)

R6.12月: 91% R7.7月: 92% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『学校はいじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めている』(①+②) ※「⑤わからない」45%

R6.12月: 50% R7.7月: 47% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』(①+②)

R6.12月: 92% R7.7月: 98% A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

R6.12月: 86% R7.7月: 88% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『自分は学校の一員だと感じている』(①+②)

R6.12月: 92% R7.7月: 91% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』(①+②) ※「⑤わからない」7%

R6.12月: 87% R7.7月: 85% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

## [学校運営協議会]

- ・5月に1年生対象で実施した「SOSの出し方講座」を受け、8月に地域住民や教職員対象の「SOSの受け方講座」を実施した。来年度も同時期に実施予定で、市民講座として定着させたい。
  - ・生徒会を中心とした「学校生活の決まり」改定の動きがあることは望ましい。実際に改定が実現すれば、生徒に達成感が生まれ、学校がより良い方向へと変わるきっかけにもなるだろう。こうした経験は、生徒の主体性や責任感を育む貴重な学びにもつながる。
- ☆いじめ対応についての保護者の回答のうち、「⑤分からない」が、R6.12月41%→R7.7月45%でした。今年度は「いじめ防止アンケート」を持ち帰って家庭で回答したり、学校だよりを通じて本校の取組をお知らせしたりしています。今後もより分かりやすく周知する方法を検討します。
- ☆「学校生活の決まり」について、生徒と一緒に考える機会を設けています。
- ☆運動会や文化発表会などの行事で、それぞれのリーダーが中心となって、生徒たちを動かしていけるよう支援することで、自分たちが学校を動かしているという実感を持てるようにします。

## (3)健全な体の育成

- ◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようとする。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)
R6.12月:74% R7.7月:65% A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満
生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)
R6.12月:89% R7.7月:92% A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満

## [学校運営協議会]

- ・市町村によって取り組みの進み方に差があるものの、地域展開が具体的にどう進んでいるのかが見えにくい状況である。保護者の中には、学校の部活動がなくなってしまうのではないかという不安を抱いている人もいるようだ。
- ☆年度当初に作成した「年間の活動計画表」を見直す機会を設けることで、目標に向けた活動の中で、見通しをもって休養日を確保していきます。

## (4)持続可能な学校教育の体制づくり

- ◎安全安心で愛情あふれる学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)
R6.12月:95% R7.7月:95% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)
R6.12月:91% R7.7月:83% A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満
教員『時間外勤務時間』(月平均時間)
R7.4月C(63h)、5月B(55h)、6月B(55h)、7月A(40h) ⇒ 4~7月平均 B(53h) A:45h以下 B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い

## [学校運営協議会]

- ・年に2回程、保護者対象の授業参観や学校公開を行っていて、防犯対策を考えると誰でもというわけにはいかないが、町内会長や民生委員さんに公開してはどうか。
- ☆業務改善については、他都市や他校種での取組を参考に、職員から様々な意見やアイディアが寄せられました。生徒と関わる時間を増やすためにも、主任会や分掌部会で検討し、2学期や来年度の業務に反映させます。

## ◆[自由記述欄]について

アンケートの『自由記述欄』には、60件の記述をいただき、ありがとうございました。ご意見、疑問に思われたこと、感謝のお言葉など様々でした。改善策(☆)を通して全てに回答できませんでしたが、いただいたご意見等は、より良い学校づくりのための参考とさせていただきます。

子どもたちのよりよい成長のための相談事などございましたら遠慮なくご連絡ください。今後とも、本校の教育活動に、ご理解・ご協力をお願いいたします。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。  
学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。

連絡先 076-248-0039 (担当 教頭 北川・主幹 東方)  
メール [fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp)